

第54回肢体不自由教育実践研究協議会

つなげる

共生社会の構築を目指して

協議会特設サイト

URL <https://kyogikai54.peatix.com>

お申込み・当日詳細のご確認は

こちらのURL・QRコードよりお願いいたします



参加申込締切

令和8年 **1/23(金)**

17:00まで

参加費

1日参加：3000円

両日参加：5000円

学生：2500円

ご挨拶

障害の有無にかかわらず、すべての子どもが力を発揮し、共生社会の一員として認め合い、支え合い、誇りをもって生きられる社会の実現に向け、インクルーシブ教育システムの構築が進められています。こうした方向性を見据えて取り組んだ今年度の研究成果を共有し、肢体不自由児がどのような場で学ぶとしても、授業内容が分かり、学習活動に参加している実感・達成感をもちながら生きる力を身に付けられる教育の在り方を考えます。

協議会1日目は例年と同様に、オンラインによる各種講演や基礎講座を行い、続く2日目は第48回大会以来となる対面開催です。皆さまと活発な意見交換や交流が生まれることを期待しています。

ご多忙の折とは存じますが、これからの肢体不自由教育を共に考える貴重な機会です。多くの先生方のご参加を心よりお待ちしております。

令和8年

1月30日(金)

オンライン開催

講演・研究概要・基礎講座

見逃し配信あり

1月31日(土)

対面開催

会場：筑波大学附属桐が丘特別支援学校

東京メトロ有楽町線・副都心線

「小竹向原駅」(3番出口)下車

本校：徒歩13分 施設併設学級：徒歩6分

主催：筑波大学附属桐が丘特別支援学校

住所：東京都板橋区小茂根2-1-12 HP：<https://www.kiri-s.tsukuba.ac.jp>

申込お問い合わせ 電話：03-3958-0181 Email:kyougikai@kiri-s.tsukuba.ac.jp

学校HP



令和8年

1月30日（金）

オンライン開催

9：00～ 受付オンライン参加（Zoom）

9：30～ 開会挨拶 学校長

9：40～ 講演1 「これからの肢体不自由教育の展望」
菅野和彦氏 文部科学省初等中等教育局視学官
（併）特別支援教育課特別支援教育調査官

11：30～ 研究概要

12：00～ 休憩

13：00～ 基礎講座 「授業づくりのL字型構造」西垣昌欣 学校長

14：10～ 報告 「遠隔教育支援システムによる特別支援学校の
センター的機能の利活用の促進に向けた検討」 当校研究部

15：20～ 講演2 「立ち上がって生活する自由を」
江口洋丞氏 Qolo株式会社代表取締役

16：30 閉会挨拶 学校長

1月31日（土）

対面開催

9：00～ 受付

9：30～ 各分科会

下記の三つの分科会の中からお選びいただきお申込みください

分科会 A

チームの力で授業が変わる！
自立活動が生きる！
～ケース会議に注目して～



事例:国語科(準ずる教育課程)

講師：池田彩乃氏
山形大学地域教育文化学部准教授

特別支援教育で重要なチームの力。これまで、ケース会議での話し合いを授業づくりや改善にどのようにつなげていくかを、実践を通して探ってきました。

実際の事例をもとに、ケース会議の意義と可能性を一緒に考えていきましょう。

会場：本校

分科会 B

手立て・配慮の
組み立て方を考える
～認知の特性に着目して～



事例:算数・数学科(準ずる教育課程)

講師：三盃亜美氏
筑波大学人間系准教授

地域の小中学校等を学びの場として選択する肢体不自由児が増えています。

その際、姿勢・運動面だけでなく、気付かれにくい認知の特性にも着目することが重要です。認知の特性を踏まえた授業改善について事例をもとに考えていきます。

会場：本校

分科会 C

障害の重い子供の各教科の授業づくり
～学びのつながりを
意図した指導の計画～



事例:音楽科(知的小学部1段階)
図画工作・美術科(知的小学部1段階)

講師：下山直人氏
筑波大学非常勤講師 元当校校長

子供の学びが効果的につながることを意図した授業づくりについて協議します。

教科の系統性を踏まえつつ、主体的な学びが実現するよう「いま、ここ」の授業をどうするか。年間を見通した実践事例を提案します。

会場：施設併設学級

15：15～ ポスター発表・教材展示（会場：本校体育館等）

16：00 閉会挨拶 学校長